

## 2022 年度 e ラーニング受講課題リスト

対象	学研 テーマ	SafetyPlus テーマ
全職員	CD2201_立ち止まる臨床倫理のススメ～臨床倫理入門～ (32 分) テストなし(視聴時間の確認) CK2203_SNS 時代に知っておきたい医療職の情報伝達心得(29 分) CJ2205_事例から学ぶ医療現場におけるハラスメント対策(29 分)	003 総合評価加算に係る研修(2020～) <u>※内容の変更はないが必須</u>
新入職員	CK2201_新医療人のためのビジネスマナー(約 29 分) CK2251_身につけておきたい医療現場の個人情報保護と情報リテラシー(約 35 分)	
病棟看護師	認知症ケア研修会とあわせ 1 人 1 回以上受講	
医師・歯科 医師、看護師、診療放射線技師、言語聴覚士、臨床工学技士		001 2020 年度院内研修－診療放射線の安全使用 <u>※内容の変更はないが必須</u>

## &lt; 課題選択の理由 &gt;

## 2022 年度旭川赤十字病院 BSC

## 学習と成長の視点

- ・ ハラスメント、個人情報保護、臨床倫理、労務管理

## 業務の視点

- ・ 業務効率化、タスクシフティング、チーム医療の推進、高齢者・認知症診療体制の強化

## 顧客の視点

- ・ がん患者対応強化等、質の高い患者対応

## 診療報酬算定に伴う必須研修

- 医療安全対策加算 1：医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を企画実施すること。
- 感染対策向上加算 1：感染制御チームは職員を対象として、少なくとも年 2 回程度、定期的に院内感染対策に関する研修を行っていること。
- 抗菌薬適正使用支援加算：抗菌薬の適正な使用を目的とした院内研修を少なくとも年 2 回実施する。なお、当該院内研修については感染対策向上加算に係る院内感染対策に関する研修と併せて実施しても差し支えない。
- 認知症ケア加算 1：認知症患者に関わる全ての病棟の看護師等は、原則として年に 1 階、認知症のアセスメントや看護方法等について、当該チームによる研修又は院外の研修を受講すること
- 総合機能評価加算：高齢者の総合的な機能評価のための職員研修を計画的に実施することが望ましい。

## 医療法による必須研修

- 医療安全研修：  
医療機関全体に共通する安全管理に関する内容について、年2回程度定期的を開催するほか、必要に応じて開催すること。また、研修の実施内容について記録すること。
- 感染対策研修：  
病院等全体に共通する院内感染に関する内容について、年2回程度定期的を開催するほか、必要に応じて開催すること。また、研修の実施内容（開催又は受講日時、出席者、研修項目）について記録すること。  
診療報酬に伴う必須研修参照
- 診療放射線の安全使用：  
放射線従事者等に対する診療用放射線に係る安全管理のための職員研修の実施
  - 職員研修の対象者は、医療被ばくの正当化・最適化に付随する業務に従事する者（放射線診療を行う医師、歯科医師、診療放射線技師等）
  - 職員研修は、年1回実施
  - 研修の実施内容（開催又は受講日時、出席者、研修項目）を記録
  - 職員研修は、当該病院等以外での研修を受講することでも代用可
  - 他の医療安全に係る研修と併せて実施可
  - 職員研修の内容は以下の通り
    - ① 医療被ばくの基本的な考え方に関する事項
    - ② 放射線診療の正当化に関する事項
    - ③ 防護の最適化に関する事項
    - ④ 放射線障害が生じた場合の対応に関する事項
    - ⑤ 患者への情報提供に関する事項